

## 授 業 科 目 担 当 表

### 人間情報学研究科

※人間情報学演習Ⅰ、人間情報学演習Ⅱ、人間情報学演習Ⅲ、人間情報学演習Ⅳ、  
論文指導の担当者については、ここから更に追加される場合があります。

#### ◎人間情報学研究科人間情報学専攻博士前期課程授業科目及び履修単位

学科 目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
コア 学 科 目 群	社 会 情 報 学 領 域	応用社会学特論	2	神林 博史
		人間情報学演習Ⅰ（応用社会学特論）	4	神林 博史
		人間情報学演習Ⅱ（応用社会学特論）	4	神林 博史
		社会情報システム論特講	2	小林 信重
		人間情報学演習Ⅰ（社会情報システム論特講）	4	小林 信重
		人間情報学演習Ⅱ（社会情報システム論特講）	4	小林 信重
		情報社会論特講	2	鈴木 努
		人間情報学演習Ⅰ（情報社会論特講）	4	鈴木 努
		人間情報学演習Ⅱ（情報社会論特講）	4	鈴木 努
		社会統計学特論	2	神林 博史
		人間情報学演習Ⅰ（社会統計学特論）	4	神林 博史
		人間情報学演習Ⅱ（社会統計学特論）	4	神林 博史
		社会教育学特論	2	原 義彦
		人間情報学演習Ⅰ（社会教育学特論）	4	原 義彦
		人間情報学演習Ⅱ（社会教育学特論）	4	原 義彦
		教育社会学特論	2	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅰ（教育社会学特論）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（教育社会学特論）	4	（本年度休講）
		地域政策論特講	2	柳井 雅也
		人間情報学演習Ⅰ（地域政策論特講）	4	柳井 雅也
		人間情報学演習Ⅱ（地域政策論特講）	4	柳井 雅也
		地域産業論特講	2	岩動志乃夫
		人間情報学演習Ⅰ（地域産業論特講）	4	岩動志乃夫
		人間情報学演習Ⅱ（地域産業論特講）	4	岩動志乃夫
		地域福祉論特講	2	増子 正 菅原 真枝
		人間情報学演習Ⅰ（地域福祉論特講）	4	増子 正 菅原 真枝
		人間情報学演習Ⅱ（地域福祉論特講）	4	増子 正 菅原 真枝
		地域情報学特論	2	高野 岳彦
		人間情報学演習Ⅰ（地域情報学特論）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（地域情報学特論）	4	（本年度休講）

学科 目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
		地域社会論特講	2	佐久間政広
		人間情報学演習Ⅰ（地域社会論特講）	4	佐久間政広
		人間情報学演習Ⅱ（地域社会論特講）	4	佐久間政広
		環境情報学特論	2	柳澤 英明
		人間情報学演習Ⅰ（環境情報学特論）	4	柳澤 英明
		人間情報学演習Ⅱ（環境情報学特論）	4	柳澤 英明
	行動情報学領域	行動情報心理学	2	萩原 俊彦
		人間情報学演習Ⅰ（行動情報心理学）	4	萩原 俊彦
		人間情報学演習Ⅱ（行動情報心理学）	4	萩原 俊彦
		適応行動学	2	金井 嘉宏
		人間情報学演習Ⅰ（適応行動学）	4	金井 嘉宏
		人間情報学演習Ⅱ（適応行動学）	4	金井 嘉宏
		適応行動学 （心理支援に関する理論と実践）	2	金井 嘉宏
		人間情報学演習Ⅰ（適応行動学） （心理支援に関する理論と実践）	4	金井 嘉宏
		人間情報学演習Ⅱ（適応行動学） （心理支援に関する理論と実践）	4	金井 嘉宏
		社会心理学特論	2	福野 光輝
		人間情報学演習Ⅰ（社会心理学特論）	4	福野 光輝
		人間情報学演習Ⅱ（社会心理学特論）	4	福野 光輝
		安全行動情報学		（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅰ（安全行動情報学）		（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（安全行動情報学）		（本年度休講）
		組織心理情報学	2	井川 純一
		人間情報学演習Ⅰ（組織心理情報学）		井川 純一
		人間情報学演習Ⅱ（組織心理情報学）		井川 純一
		知覚心理学特論	2	櫻井 研三
		人間情報学演習Ⅰ（知覚心理学特論）	4	櫻井 研三
		人間情報学演習Ⅱ（知覚心理学特論）	4	櫻井 研三
		認知心理学特論	2	加藤 健二
		人間情報学演習Ⅰ（認知心理学特論）	4	加藤 健二
		人間情報学演習Ⅱ（認知心理学特論）	4	加藤 健二
		教育工学特論	2	稲垣 忠
		人間情報学演習Ⅰ（教育工学特論）	4	稲垣 忠
		人間情報学演習Ⅱ（教育工学特論）	4	稲垣 忠
		スポーツ生理学	2	千葉 智則
	人間情報学演習Ⅰ（スポーツ生理学）	4	千葉 智則	
	人間情報学演習Ⅱ（スポーツ生理学）	4	千葉 智則	

学科 目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
		健康体力統計学	2	高橋 信二 岡崎 勘造
		人間情報学演習Ⅰ（健康体力統計学）	4	高橋 信二 岡崎 勘造
		人間情報学演習Ⅱ（健康体力統計学）	4	高橋 信二 岡崎 勘造
		健康行動学	2	東海林 涉 白倉 瞳
		人間情報学演習Ⅰ（健康行動学）	4	東海林 涉
		人間情報学演習Ⅱ（健康行動学）	4	東海林 涉
		健康行動学 （心の健康教育に関する理論と実践）	2	白倉 瞳
		人間情報学演習Ⅰ（健康行動学） （心の健康教育に関する理論と実践）	4	白倉 瞳
		人間情報学演習Ⅱ（健康行動学） （心の健康教育に関する理論と実践）	4	白倉 瞳
		臨床健康心理学 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	4	東海林 涉
		人間情報学演習Ⅰ（臨床健康心理学） （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	4	東海林 涉
		人間情報学演習Ⅱ（臨床健康心理学） （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	4	東海林 涉
	生命・ 情報学 領域	応用情報学特論	2	乙藤 岳志
		人間情報学演習Ⅰ（応用情報学特論）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（応用情報学特論）	4	（本年度休講）
		インターフェース特論	2	伊藤 則之
		人間情報学演習Ⅰ（インターフェース特論）	4	伊藤 則之
		人間情報学演習Ⅱ（インターフェース特論）	4	伊藤 則之
		コンピュータシステム演習	2	坂本 泰伸
		マルチメディア情報処理特論	2	松本 章代
		人間情報学演習Ⅰ（マルチメディア情報処理特論）	4	松本 章代
		人間情報学演習Ⅱ（マルチメディア情報処理特論）	4	松本 章代
		メディア情報処理特論	2	松本 章代
		人間情報学演習Ⅰ（メディア情報処理特論）	4	松本 章代
		人間情報学演習Ⅱ（メディア情報処理特論）	4	松本 章代
		コンピュータネットワーク特論	2	坂本 泰伸
		人間情報学演習Ⅰ（コンピュータネットワーク特論）	4	坂本 泰伸
		人間情報学演習Ⅱ（コンピュータネットワーク特論）	4	坂本 泰伸
		アルゴリズム特論	2	武田 敦志 若林 裕之
		人間情報学演習Ⅰ（アルゴリズム特論）	4	武田 敦志
		人間情報学演習Ⅱ（アルゴリズム特論）	4	武田 敦志

学科目群	領域	授 業 科 目	単位	担 当 者 名
		視覚科学特論	2	牧野 悌也
		人間情報学演習Ⅰ（視覚科学特論）	4	牧野 悌也
		人間情報学演習Ⅱ（視覚科学特論）	4	牧野 悌也
		生体情報学特論	2	土原 和子
		人間情報学演習Ⅰ（生体情報学特論）	4	土原 和子
		人間情報学演習Ⅱ（生体情報学特論）	4	土原 和子
		生体情報処理系特論	2	松尾 行雄
		人間情報学演習Ⅰ（生体情報処理系特論）	4	松尾 行雄
		人間情報学演習Ⅱ（生体情報処理系特論）	4	松尾 行雄
		確率・統計特論	2	岩田友紀子
		人間情報学演習Ⅰ（確率・統計特論）	4	岩田友紀子
		人間情報学演習Ⅱ（確率・統計特論）	4	岩田友紀子
		代数幾何学特論	2	石田 弘隆
		人間情報学演習Ⅰ（代数幾何学特論）	4	石田 弘隆
		人間情報学演習Ⅱ（代数幾何学特論）	4	石田 弘隆
		代数学特論	2	佐藤 篤
		人間情報学演習Ⅰ（代数学特論）	4	佐藤 篤
		人間情報学演習Ⅱ（代数学特論）	4	佐藤 篤
		幾何学特論	2	片方 江
		人間情報学演習Ⅰ（幾何学特論）	4	片方 江
		人間情報学演習Ⅱ（幾何学特論）	4	片方 江
		解析学特論	2	星野 真樹
		人間情報学演習Ⅰ（解析学特論）	4	星野 真樹
		人間情報学演習Ⅱ（解析学特論）	4	星野 真樹
		地表環境論	2	伊藤 晶文
		人間情報学演習Ⅰ（地表環境論）	4	伊藤 晶文
		人間情報学演習Ⅱ（地表環境論）	4	伊藤 晶文
		生態学特論	2	平吹 喜彦
		人間情報学演習Ⅰ（生態学特論）	4	平吹 喜彦
		人間情報学演習Ⅱ（生態学特論）	4	平吹 喜彦
大気・水環境論	2	目代 邦康		
人間情報学演習Ⅰ（大気・水環境論）	4	目代 邦康		
人間情報学演習Ⅱ（大気・水環境論）	4	目代 邦康		
基礎学科目群	Ⅰ群	人間学特論	2	紺野 祐
		人間情報学演習Ⅰ（人間学特論）	4	紺野 祐
		人間情報学演習Ⅱ（人間学特論）	4	紺野 祐
		人間形成原論	2	坪田 益美
		人間情報学演習Ⅰ（人間形成原論）	4	坪田 益美
		人間情報学演習Ⅱ（人間形成原論）	4	坪田 益美

学科 目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
		宗教と科学・文化	2	佐久間政広
		比較文化論特講	2	津上 誠
		人間情報学演習Ⅰ（比較文化論特講）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（比較文化論特講）	4	（本年度休講）
		地域文化論特講	2	遠藤 尚
		人間情報学演習Ⅰ（地域文化論特講）	4	遠藤 尚
		人間情報学演習Ⅱ（地域文化論特講）	4	遠藤 尚
		スポーツ科学特論	2	坂本 讓
		人間情報学演習Ⅰ（スポーツ科学特論）	4	坂本 讓
		人間情報学演習Ⅱ（スポーツ科学特論）	4	坂本 讓
		共同体論特講	2	津上 誠
		人間情報学演習Ⅰ（共同体論特講）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（共同体論特講）	4	（本年度休講）
		国際地域論	2	楊 世英
		人間情報学演習Ⅰ（国際地域論）	4	楊 世英
		人間情報学演習Ⅱ（国際地域論）	4	楊 世英
		福祉市民活動論特講	2	大澤 史伸
		人間情報学演習Ⅰ（福祉市民活動論特講）	4	大澤 史伸
		人間情報学演習Ⅱ（福祉市民活動論特講）	4	大澤 史伸
		生活情報システム論	2	仙田 幸子
		人間情報学演習Ⅰ（生活情報システム論）	4	仙田 幸子
		人間情報学演習Ⅱ（生活情報システム論）	4	仙田 幸子
		記号論特講	2	文 景楠
		人間情報学演習Ⅰ（記号論特講）	4	文 景楠
		人間情報学演習Ⅱ（記号論特講）	4	文 景楠
		言語コミュニケーション論	2	房 賢嬉
		人間情報学演習Ⅰ（言語コミュニケーション論）	4	房 賢嬉
		人間情報学演習Ⅱ（言語コミュニケーション論）	4	房 賢嬉
		日本語教育学	2	房 賢嬉
		人間情報学演習Ⅰ（日本語教育学）	4	房 賢嬉
	人間情報学演習Ⅱ（日本語教育学）	4	房 賢嬉	
	日本語教育学	2	佐藤 真紀	
	人間情報学演習Ⅰ（日本語教育学）	4	佐藤 真紀	
人間情報学演習Ⅱ（日本語教育学）	4	佐藤 真紀		
Ⅱ 群		記号処理論		（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅰ（記号処理論）		（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（記号処理論）		（本年度休講）
		言語情報処理論	2	岸 浩介

学科 目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
		人間情報学演習Ⅰ（言語情報処理論）	4	岸 浩介
		人間情報学演習Ⅱ（言語情報処理論）	4	岸 浩介
		プログラム言語論	2	杉浦 茂樹 若林 裕之
		人間情報学演習Ⅰ（プログラム言語論）	4	杉浦 茂樹
		人間情報学演習Ⅱ（プログラム言語論）	4	杉浦 茂樹
		データベース特論	2	高橋 秀幸 若林 裕之
		人間情報学演習Ⅰ（データベース特論）	4	高橋 秀幸
		人間情報学演習Ⅱ（データベース特論）	4	高橋 秀幸
		計算と論理	2	乙藤 岳志
		人間情報学演習Ⅰ（計算と論理）	4	（本年度休講）
		人間情報学演習Ⅱ（計算と論理）	4	（本年度休講）
		人工知能特論	2	武田 敦志 若林 裕之
		人間情報学演習Ⅰ（人工知能特論）	4	武田 敦志
		人間情報学演習Ⅱ（人工知能特論）	4	武田 敦志
		数理情報科学	2	佐藤 篤
		人間情報学演習Ⅰ（数理情報科学）	4	佐藤 篤
		人間情報学演習Ⅱ（数理情報科学）	4	佐藤 篤
		フラクタル	2	村上 弘志
		人間情報学演習Ⅰ（フラクタル）	4	村上 弘志
		人間情報学演習Ⅱ（フラクタル）	4	村上 弘志
		複雑系の科学	2	菅原 研
		人間情報学演習Ⅰ（複雑系の科学）	4	菅原 研
		人間情報学演習Ⅱ（複雑系の科学）	4	菅原 研
		数理統計学特論	2	岩田友紀子
		人間情報学演習Ⅰ（数理統計学特論）	4	岩田友紀子
		人間情報学演習Ⅱ（数理統計学特論）	4	岩田友紀子
		関数方程式論	2	星野 真樹
		人間情報学演習Ⅰ（関数方程式論）	4	星野 真樹
		人間情報学演習Ⅱ（関数方程式論）	4	星野 真樹
		遺伝・進化情報学	2	土原 和子
		人間情報学演習Ⅰ（遺伝・進化情報学）	4	土原 和子
		人間情報学演習Ⅱ（遺伝・進化情報学）	4	土原 和子
		地球環境史	2	伊藤 晶文
		人間情報学演習Ⅰ（地球環境史）	4	伊藤 晶文
		人間情報学演習Ⅱ（地球環境史）	4	伊藤 晶文
		地球環境論	2	目代 邦康

学科目群	領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
		人間情報学演習Ⅰ（地球環境論）	4	目代 邦康
		人間情報学演習Ⅱ（地球環境論）	4	目代 邦康
		地域環境論特講	2	平吹 喜彦
		人間情報学演習Ⅰ（地域環境論特講）	4	平吹 喜彦
		人間情報学演習Ⅱ（地域環境論特講）	4	平吹 喜彦
	Ⅲ群	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	川村 玲香 佐々木健太 井川 純一
		教育分野に関する理論と支援の展開	2	平野 幹雄 早川 典子
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2	菅藤 健一
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	井川 純一
		心理的アセスメントに関する理論と実践	2	金井 嘉宏 東海林 涉 榎 貴浩
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	平泉 拓
		心理実践実習Ⅰ	2	福野 光輝 平野 幹雄 井川 純一 加藤 健二 金井 嘉宏 櫻井 研三 東海林 涉 萩原 俊彦 白倉 瞳
	心理実践実習Ⅱ	2	福野 光輝 平野 幹雄 井川 純一 加藤 健二 金井 嘉宏 櫻井 研三 東海林 涉 萩原 俊彦 白倉 瞳	

## 1. 履修方法

2年以上在学して、授業科目について次の要件を満たす30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

- (1) コア学科目群の三つの領域の一つを「メジャー」として選択し、当該領域から8単位以上を修得するものとする。
- (2) コア学科目群の「メジャー」以外の領域から2単位以上を修得するものとする。
- (3) 基礎学科目群Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群のうち二つ以上の群からそれぞれ2単位以上を修得するものとする。ただし、Ⅲ群については、公認心理師試験の受験資格取得要件科目のうち、学部における必要な科目をすべて修めた者のみが履修できるものとする。
- (4) 人間情報学演習Ⅰ及びⅡは必修とし、8単位を修得するものとする。

- (5) 公認心理師試験の受験資格取得希望者は、下記の科目を履修し、単位を修得しなければならない。
- ア コア科目群（行動情報学領域）の「適応行動学（心理支援に関する理論と実践）」「健康行動学（心の健康教育に関する理論と実践）」「臨床健康心理学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）」の3科目
  - イ III群のすべての科目

## 2. 研究指導計画 — 学位授与までのプロセス —

本研究科では、入学試験時に確認された院生の研究計画に応じて、主指導教員と複数の副指導教員を選出し、年度開始以前に指導体制を構築している。

### 〈一年次〉

入学直後に実施される入学時オリエンテーションにおいて、大学院での学修に関する基本的注意、利用できる施設・機器及び財政的支援制度の紹介、科目履修に関する一般的説明などが行われ、その後、指導教員及び科目担当者から科目履修に関する個別指導が行われる。これらを通じて、院生は1年間の履修計画を完成させ、それに対応した「授業科目履修届」を提出する。

院生は1年間「人間情報学演習 I」を履修し、主及び副指導教員の指導のもとで論文講読・フィールドワーク・調査・実験等を実施する。それらを通じて当該領域の研究方法を学修すると同時に、独自の研究テーマを絞り込んでゆく。その過程では、国内外の研究者とのインターネットを利用した学術交流についても体験する。

年度末には、1年間の学修成果を『人間情報学研究科年誌』に発表する。

### 〈二年次〉

年度初めのオリエンテーションにおいて、修士論文提出までの日程と提出に必要な手続き、及び論文提出後の審査過程に関する説明が行われる。それに従い、院生は「修士論文題目届」と研究経過や今後の研究計画等を記述した「修士論文作成指導申込書」を作成し、指導教員の承認を得て提出しなければならない。

院生は1年間「人間情報学演習 II」を履修し、主及び副指導教員の指導のもとで研究計画に基づく実験や調査等の進捗状況の報告と討論を積み重ね、それらを基盤として修士論文を作成し、提出する。

年度末には、1年間の学修成果を『人間情報学研究科年誌』に発表する。

### 〈論文審査の体制〉

提出された論文に対して主査1名と副査若干名（原則として演習指導教員）からなる審査委員会が構成され、論文審査と最終試験（口述または筆答試験）が実施される。審査結果は研究科委員会で報告され、そこでの審議により合否が決定される。

### 〈論文の審査基準〉

学術研究論文としての基本的要件を備えており、提出者の基本的研究能力を証左するものであることが審査基準となる。具体的には、①学術研究論文としての体裁、②論旨の一貫性、③データや資料の分析の適切性と分析結果に基づく論証の的確性、等の観点から審査される。

最終試験では、学位論文の内容及び当該分野に関する理解の程度を口述または筆答により審査する。

### 〈学位授与の要件〉

①必要な科目の単位を全て修得済であること、②論文審査及び最終試験に合格すること、の2点が学位授与の要件となる。



◎人間情報学専攻博士後期課程授業科目及び履修単位

領域	授 業 科 目	単位	担 当 者 名
社会情報学領域	人間情報学演習Ⅲ（社会情報処理システムの制御に関する研究）	4	小林 信重 神林 博史 仙田 幸子
	人間情報学演習Ⅲ（コミュニティと地域文化に関する研究）	4	佐久間政広 遠藤 尚 紺野 祐 原 義彦 坪田 益美 稲垣 忠
	人間情報学演習Ⅲ（福祉市民活動と地域福祉に関する研究）	4	増子 正 大澤 史伸 菅原 真枝
	人間情報学演習Ⅲ（比較文化・異文化交流に関する研究）	4	鈴木 努
	人間情報学演習Ⅲ （現代における地域構造の変容と地域問題に関する研究）	4	岩動志乃夫 柳井 雅也 楊 世英
	人間情報学演習Ⅳ（社会情報処理システムの制御に関する研究）	4	小林 信重 神林 博史 仙田 幸子
	人間情報学演習Ⅳ（コミュニティと地域文化に関する研究）	4	佐久間政広 遠藤 尚 紺野 祐 原 義彦 坪田 益美 稲垣 忠
	人間情報学演習Ⅳ（福祉市民活動と地域福祉に関する研究）	4	増子 正 大澤 史伸 菅原 真枝
	人間情報学演習Ⅳ（比較文化・異文化交流に関する研究）	4	鈴木 努
	人間情報学演習Ⅳ （現代における地域構造の変容と地域問題に関する研究）	4	岩動志乃夫 柳井 雅也 楊 世英
	論文指導（社会情報処理システムの制御に関する研究）	4	小林 信重 神林 博史 仙田 幸子
	論文指導（コミュニティと地域文化に関する研究）	4	佐久間政広 遠藤 尚 紺野 祐 原 義彦 坪田 益美 稲垣 忠
	論文指導（福祉市民活動と地域福祉に関する研究）	4	増子 正 大澤 史伸 菅原 真枝

領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
	論文指導（比較文化・異文化交流に関する研究）	4	鈴木 努
	論文指導 （現代における地域構造の変容と地域問題に関する研究）	4	岩動志乃夫 柳井 雅也 楊 世英
行 動 情 報 学 領 域	人間情報学演習Ⅲ（行動情報処理システムに関する研究）	4	櫻井 研三 加藤 健二 東海林 渉
	人間情報学演習Ⅲ（生理・運動機能に関する研究）	4	千葉 智則 坂本 讓 岡崎 勘造 高橋 信二
	人間情報学演習Ⅲ（適応情報処理システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦
	人間情報学演習Ⅲ（社会行動システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦
	人間情報学演習Ⅳ（行動情報処理システムに関する研究）	4	櫻井 研三 加藤 健二 東海林 渉
	人間情報学演習Ⅳ（生理・運動機能に関する研究）	4	千葉 智則 坂本 讓 岡崎 勘造 高橋 信二
	人間情報学演習Ⅳ（適応情報処理システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦
	人間情報学演習Ⅳ（社会行動システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦
	論文指導（行動情報処理システムに関する研究）	4	櫻井 研三 加藤 健二 東海林 渉
	論文指導（生理・運動機能に関する研究）	4	千葉 智則 坂本 讓 岡崎 勘造 高橋 信二
	論文指導（適応情報処理システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦
	論文指導（社会行動システムに関する研究）	4	福野 光輝 金井 嘉宏 萩原 俊彦

領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者 名
生命・情報学領域	人間情報学演習Ⅲ (人間とコンピュータとの関わりに関する研究)	4	杉浦 茂樹 武田 敦志
	人間情報学演習Ⅲ (高次機能の制御に関する研究)	4	松尾 行雄 牧野 悌也
	人間情報学演習Ⅲ (複雑系の解析及びモデルに関する研究)	4	菅原 研 岩田友紀子
	人間情報学演習Ⅲ (地表環境の変遷とその形成要因に関する研究)	4	柳澤 英明 伊藤 晶文
	人間情報学演習Ⅲ (地域の景観生態と環境教育に関する研究)	4	平吹 喜彦 目代 邦康
	人間情報学演習Ⅳ (人間とコンピュータとの関わりに関する研究)	4	杉浦 茂樹 武田 敦志
	人間情報学演習Ⅳ (高次機能の制御に関する研究)	4	松尾 行雄 牧野 悌也
	人間情報学演習Ⅳ (複雑系の解析及びモデルに関する研究)	4	菅原 研 岩田友紀子
	人間情報学演習Ⅳ (地表環境の変遷とその形成要因に関する研究)	4	柳澤 英明 伊藤 晶文
	人間情報学演習Ⅳ (地域の景観生態と環境教育に関する研究)	4	平吹 喜彦 目代 邦康
	論文指導 (人間とコンピュータとの関わりに関する研究)	4	杉浦 茂樹 武田 敦志
	論文指導 (高次機能の制御に関する研究)	4	松尾 行雄 牧野 悌也
	論文指導 (複雑系の解析及びモデルに関する研究)	4	菅原 研 岩田友紀子
	論文指導 (地表環境の変遷とその形成要因に関する研究)	4	柳澤 英明 伊藤 晶文
	論文指導 (地域の景観生態と環境教育に関する研究)	4	平吹 喜彦 目代 邦康

## 1. 履修方法

3年以上在学し、授業科目について12単位以上を修得し、指導教員の下に必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者と認められる場合には在学期間を短縮することができる。

(1) 社会情報学・行動情報学・生命情報学の三領域の一つをメジャーとして選択する。

- (2) 選択した領域ごとにそれぞれ、演習Ⅲ 4 単位、演習Ⅳ 4 単位、論文指導 4 単位計 12 単位以上を修得するものとする。
- (3) 演習Ⅲ、演習Ⅳ、論文指導は、それぞれの研究課題のうちから一つの課題を専修し、履修するものとする。

## 2. 研究指導計画 — 学位授与までのプロセス —

進学時に確認された院生の研究テーマ、研究計画に応じて、主指導教員と複数の副指導教員を 2 つ以上の領域から選出し、年度開始までに指導体制を構築する。

### 〈一年次〉

年度初めのオリエンテーションにおいて、利用できる施設・機器及び財政的支援制度の紹介、科目履修に関する一般的説明などが行われ、その後、指導教員から研究計画に関する個別指導が行われる。院生は 1 年間の研究計画を策定し、それに対応した「授業科目履修届」を提出する。

院生は 1 年間「人間情報学演習Ⅲ」を履修し、主及び副指導教員の指導のもとで博士論文作成のための基礎を固める。具体的には、最新の文献と並行してより基本的・古典的な文献も講読しつつ、実証的な資料の蓄積による研究の進め方、問題の設定方法、データ解析の方法について学修する。

年度末には、1 年間の学修成果を小論文にまとめ、『人間情報学研究科年誌』に発表する。

### 〈二年次〉

年度初めのオリエンテーションにおいて、年間の学事スケジュールが提示され、その後指導教員により研究計画に関する個別指導が行われる。院生は 1 年間の研究計画を策定し、それに対応した「授業科目履修届」を提出する。

院生は 1 年間「人間情報学演習Ⅳ」を履修し、主及び副指導教員のもとで最新の技術や方法論に関する文献や資料の解析と討論を重ねながら、研究テーマの絞り込みを行う。

年度末には、1 年間の学修成果を小論文にまとめ、『人間情報学研究科年誌』に発表する。

### 〈三年次〉

年度初めのオリエンテーションにおいて、博士論文提出までの日程と提出に必要な手続き、及び論文提出後の審査過程に関する説明が行われる。それに従い、院生は「授業科目履修届」のほかに、「博士論文題目届」と研究経過や今後の研究計画等を記述した「博士論文作成指導申込書」を作成し、指導教員の承認を得て提出しなければならない。

院生は 1 年間「論文指導」を履修し、主及び副指導教員のもとで博士論文作成のために必要な知識・技術を学修しながら論文を作成し、提出する。

年度末には、1 年間の学修成果を小論文にまとめ、『人間情報学研究科年誌』に発表する。

### 〈論文審査の体制〉

院生の論文審査及び学力確認のために、院生毎に審査委員会を組織する。審査委員会は、主指導教員を委員長とし、主指導教員が所属する領域より 1 名以上、他の領域から 1 名以上を含む合計 3 名以上の大学院担当教員で構成する。また、必要に応じて、本学以外の大学院担当教員を審査委員として加えることがある。

予備審査：論文提出資格の充足と博士論文の作成がともに 1 年以内に可能であると判断される院生は、審査委員会の指示に従って、論文提出の前に予備審査を受けなければならない。予備審査を受ける院生は、「業績一覧」を含む「研究計画書」を、予備審査の 1 ヶ月前までに審査委員会に提出する。予備審査において、審査委員会は後述する審査基準を満たす論文の作成可能性を判断する。同時に、審査基準を満たすための条件を院生とのあいだで合意し、それを記録して保管する。審査結果は研究科委員会に報告される。

本審査:予備審査に合格した院生は、期日までに「論文審査願」に「博士論文」、「論文要旨」、「論文目録」及び「履歴書」を添えて研究科長を通して学長に提出する。

#### 〈論文の審査基準〉

提出された論文が学術研究論文としての基本的要件を備えており、提出者が専攻分野の研究者として自立した研究活動を行うに必要となる高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有することを証左するものであることが、論文の審査基準となる。具体的には、①学術研究論文としての体裁、②論旨の一貫性、③データや資料の分析の適切性と分析結果に基づく論証の的確性、④専攻分野の発展に寄与する新たな知見、等の観点から審査される。

最終試験では、学位論文の内容及び当該分野に関する理解の程度を口述または筆答により審査する。

#### 〈学位授与の要件〉

学位授与の要件は、①必要単位数を満たしていること、②課程在学中に博士論文の研究主題に関連する内容で2編以上の論文が学術雑誌に掲載済または採択済であること（うち1編は定評のある査読有りの学術雑誌であること）、③博士論文の主題の分野に関するしかるべき水準の知識及び外国語の能力が確認され論文審査及び最終試験に合格すること、の3点である。